

平成24年度における取組の結果と今後の方向

24年度の結果

- 仕切価は若干下がり、一次売差マイナスは若干縮小。
- 割戻し・アローアンスは拡大傾向に歯止め。
- 総価取引の割合が減って、単品単価へ移行。
- 価格交渉が難航し、妥結までの期間が長期化。

今後の方向

医療保険制度の意義の確認と、 経済合理性に基づく取引の徹底

- 製品構成や市場環境の変化を踏まえた仕切価、割戻し・AWの交渉を継続
- 引き続き単品単価契約を進めることによる、医薬品ごとの価値に見合った合理的な価格形成を促進
- 価格交渉の早期着手による早期妥結